

■**顕真** 僧。法然を招いて、“大原談義”し、余行を捨て浄土門に帰した。

けんしん

・・・・・・1131= 生。公卿家の藤原顕能・藤原為隆女を父母とする。

西行出家・・1140= **9歳** :

・・・・・・1149=**18歳** :

**保元の乱**・・1156=25歳 :

後白河院政始1158=**27歳** :

**平治の乱**・・1159=28歳 :

**清盛太政大臣**1167=**36歳** :

比叡山で顕教を明雲に学び、密灌を相実から受ける。

・・・・・・1173=42歳 : **隠棲の心をいただき、洛北大原に退く。**

・・・・・・1176=**45歳** :

**源氏一斉蜂起**1180=49歳 :

**専修念仏に心をひかれ、**

**平氏滅亡**・・1185=**54歳** :

九条兼実摂政1186=55歳 : \*かつて慧光房永弁の誘いで訪れたことのある吉水の法然を大原勝林院に招き、専修念仏の義を問い、道緯・善導の釈文を用いて念仏往生の義を説明する法然の言葉に動かされ、ついに余行を捨て浄土門に帰した。これを“大原談義”という。

藤原秀衡没・1187=56歳 : 勝林院で同志12人と不断念仏を修し、大原山中に性智・境智など五房を建立。

**奥州藤原滅亡**1189=58歳 :

源頼朝上洛・1190=59歳 : \*天台座主に補任されたが、これを拒み赴任しなかったため、天皇の使者が顕真の眼前で編言を宣してようやくその任についた。最勝会証義を勤め権僧正となる。座主として3年間勤め、

**鎌倉幕府始**・1192=61歳 : \*比叡山東塔円融房で寂した。